

# 暮らしと町づくりに73億円

平成7年度の町の一般会計の決算がまとまり、昨年の12月議会で承認されました。決算は町の家計簿といえるもので、平成7年4月1日から平成8年3月31日まで、町にお金が入って来て、何にどう使ったかをまとめたものです。決算額は歳入75億7099万円、歳出73億2500万円、2億7074万円を平成8年度に繰り越しました。

福祉や教育施設の充実、道路や下水道の整備など町が各種の事業を行うためには、たくさんのお金が必要で、そのお金は、町民の皆さんからいただく税金や国県からもらったお金（これも税金です）あるいは借金（町債）などでまかないます。

町は、お金がいくら入って来て、それを何に使うかの計画を年度初めに立てます（当初予算）。また、必要に応じて予算を修正します（補正予算）。平成7年度は、64億円で

スタートし、補正を経て最終的に73億9412万円になりました。

## 歳入歳出とも増に

決算とは、こうした予算をどのように使ったかを表したものです。平成7年度に町に入ってきたお金（歳入といいますが）は75億7099万2616円、町が使ったお金（歳出といいますが）は73億2500万2930円でした。前年度に比べると、歳入は2億3398万円（3.2%）、歳

出は1億7879万円（2.5%）それぞれ増えていきます。歳入と歳出の差額2億7074万円は次年度、つまり平成8年度に繰り越されました。

## 町民一人30万円使う

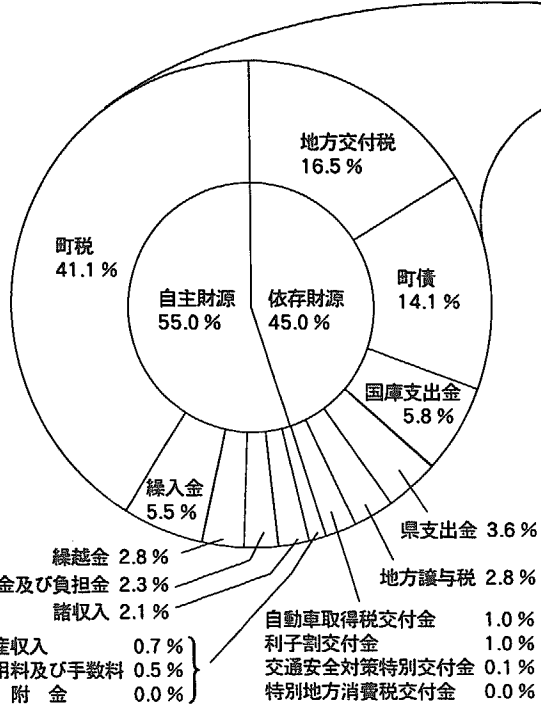
歳入の内訳は次ページのとおりです。歳入のうち町税や繰越金など町だけでまかなえる財源を自主財源といいますが、歳入全体の55.0%を占めます。自主財源で足りない分は国県の支出金や町債（町の借金）でまかなうこととなります。これを依存財源といいますが、45.0%を占めています。

歳出の内訳は下をご覧ください。町道や学校施設などの整備のほか、町職員の給与、公債費（町債の返済）などにも使っています。

町民一人当たりでは、町税を12万8026円いただき、30万558円使ったことになります。差額は国県の補助金、借金でまかなっています。

# 平成7年度 決算

## 73億円の使いみち



### 歳入75億7099万円

### 自主財源 41億6460万円

- ◆町税31億963万円（前年度より+2億3557万円、+8.2%）町の最大の収入源。町民税14億7581万円、固定資産税14億1786万円、市町村たばこ税1億1258万円など。
- ◆繰入金4億1993万円（-2億3767万円、-36.1%）基金を崩して一般会計に入れるもの。都市整備基金から2億円、財政調整基金から1億円 減債基金から4000万円など。
- ◆繰越金2億1554万円（-101万円、-0.5%）前年度繰越金。
- ◆分担金及び負担金1億7080万円（+214万円、+1.3%）ほとんどが保育料。
- ◆諸収入1億5867万円（-1853万円、-8.6%）産業育成資金貸付金元利収入6102万円など。
- ◆財産収入5216万円（-3775万円、-42.0%）金利の低下による運用収入の減などのため。
- ◆使用料及び手数料3574万円（+300万円、+9.2%）戸籍住民手数料、黒埼荘使用料など。
- ◆寄附金213万円（-8万円、-3.5%）

### 依存財源 34億639万円

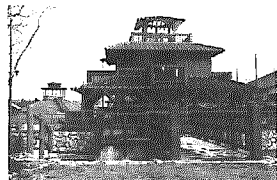
- ◆地方交付税12億4989万円（前年度より+2958万円、+2.4%）国が所得税、法人税及び酒税の収入額の各32%を地方に交付。
- ◆町債10億6440万円（+1億1230万円、+11.8%）町の借金。ふれあい・うるおいロード環境整備事業債4億870万円、減債補てん債1億8550万円など。
- ◆国庫支出金4億4201万円（+6650万円、+17.7%）使い道が決まっている国からの補助金。農村総合整備モデル事業補助金9186万円など。
- ◆県支出金2億7336万円（+9006万円、+49.1%）農林水産業総合振興事業補助金3931万円など。
- ◆地方譲与税2億1524万円（+692万円、+3.3%）
- ◆自動車取得税交付金7906万円（+812万円、+11.4%）
- ◆利子割交付金7412万円（-2601万円、-26.0%）
- ◆交通安全対策特別交付金763万円（+84万円、+12.4%）
- ◆特別地方消費税交付金68万円（-1万円、-1.0%）

## 歳出の内訳

◆総務費19億51万円（前年度より+8474万円、4.7%）町職員給与8億2155万円、町職員手当など4億9430万円、徴税費5693万円、広域行政対策費619万円、戸籍住民基本台帳費1172万円、交通安全対策費1397万円、町史編さん費2256万円、企画費1790万円、選挙費1060万円など。

◆土木費15億7253万円（+2億8799万円、+22.4%）町道の整備5億8376万円、国・県道の整備（負担金）9391万円、除雪委託料3447万円、土地区画整理事業助成金7985万円、下水道事業特別会計繰出金1億6382万円、都市下水路費2835万円、公園事業費2565万円など。

◆衛生費8億8628万円（-4億7290万円、-34.8%）保健センター建設事業費（二期工事）2億



2861万円、新潟地区広域清掃事務組合負担金2億9403万円、古紙集団回収事業助成金130万円、乳幼児検診及び母子保健指導290万円、乳児医療助成707万円、防薬剤費補助金222万円など。

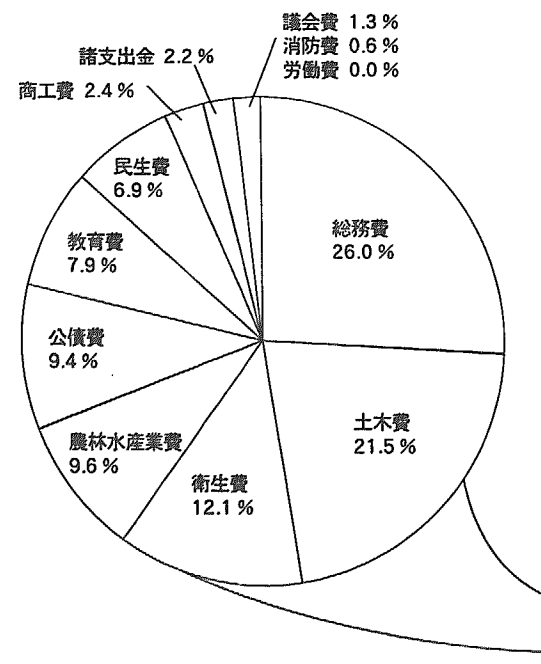
◆農林水産業費6億9842万円（2億9588万円、73.5%）農業委員会費1428万円、土地利用型農業経営規模拡大促進事業費223万円、農業振興費1億318万円、水田営農活性化対策推進費1098万円、農村総合整備事業費3億9620万円、農地費1億4582万円、町民農園事業費103万円など。

◆公債費6億8331万円（+7736万円、+12.8%）町の借金（町債）の返済。

◆教育費5億7738万円（+8360万円、+16.9%）教育委員



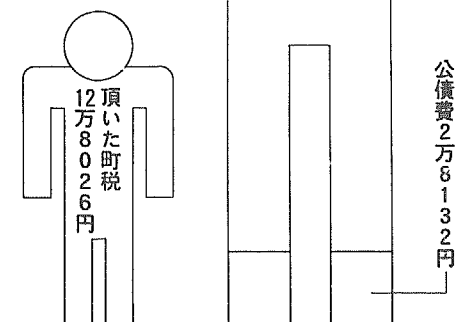
### 歳出73億2500万円



## 町民1人当たりでは (人口は平成8年3月末日の24,289人)

総務費	78,246円	26.0%
土木費	64,743円	21.5%
衛生費	36,489円	12.1%
農林水産費	28,754円	9.6%
教育費	23,771円	7.9%
民生費	20,829円	6.9%
商工費	7,280円	2.4%
その他	40,446円	13.6%

### 使った費用 30万558円



会費1947万円、ふれあい教育センター事業費905万円、小学校費2億7251万円、中学校費4989万円、社会教育総務費1030万円、公民館費1億1009万円、青少年問題対策費424万円、図書館費1197万円、社会体育費3689万円など。

◆民生費5億590万円（-1億2337万円、-19.6%）社会福祉総務費5880万円、老人福祉総務費1億4945万円、老人福祉センター管理費1974万円、国民年金事務費2794万円、ひとり親家庭等総務費329万円、児童福祉費2億1120万円など。



◆消防費4486万円（-317万円、-6.6%）常備消防費1153万円（特殊災害に備え、救急・救助用資器材の整備）、非常備消防費2656万円（消防団の整備充実）など。

◆労働費15万円（-7万円、-31.8%）新潟県労働者信用基金協会に拠出金15万円。



◆商工費1億7682万円（+2226万円、+14.4%）産業育成資金の融資貸付、商工業近代化資金の融資貸付、消費生活の改善など。

◆諸支出金1億6034万円（-5889万円、-26.9%）主に将来に備えて積み立てたもの。財政調